

モリケン っうしん

まいぷれ宮崎 限定版 ①

(2023年 7月)

宮崎市 (住吉) 建築中住宅 気密測定を実施しました！

気密測定結果説明書

本日は住宅 気密測定のご依頼をいただき、ありがとうございました。
測定結果を下記の通りご報告いたします。ご不明点がございましたらお問合せ下さい。

ご依頼物件名 極楽
住宅会社様名 (有) 森下工建社 様

測定者 (株) LIXIL トータルサービス 測定日 2023.7.28 時 14:50

■ 総相当隙間面積 (αA (cm/m²)) について
建物全体の隙間を一つ所に集めた時の面積です。

本物件の測定結果は 12 cm/m² になります。

約 2.46 cm 角の正方形になります。

(参考) 実質延床面積 (S値 (m²))
101.35

■ 相当隙間面積 (C値 (cm/m²)) について
床面積 1m² に対し隙間がどれくらいあるかを表した値です。

本物件の値は 0.118 cm/m² になります。

気密を表す数値 (C値)
数値が低いほど気密性が高い
今回はC値 = 0.118

家中の様々な隙間を集めても
3.46cm × 3.46cm の面積

株式会社 LIXIL トータルサービス

家づくりの重要なポイントの一つ『気密性』

- どんなに断熱性が高くても、隙間の多い家では外気が入ってくる・内気が外に出てしまう・
⇒冷暖房機器のさらなる稼働⇒電気代等の高騰！
- 気密が高いと、室内の空気の流れにムラがないので、計画 (建築時の計算) 通りの換気ができる。
⇒電気代削減かつ快適、PM2.5・花粉等の侵入防止
- 気密が高いと、万が一の浸水被害を最小限に！
など、様々な利点があります。

SW工法による建築を行っている弊社では、外部の専門機関に委託し、全棟気密測定を実施しています。施工技術が大きく影響する『気密性』。弊社は自社大工の丁寧な施工により、C値 0.2以下で安定しております。



『断熱性能』もちろん重視

住宅から熱を外に逃がさない。外の熱を住宅内に侵入させない。このために重要となるのが「断熱性能」です。断熱の性能は『UA値』という数値で表され、数値が低いほど断熱の性能が高いということになります。弊社は、それらの証明書として『BELS』を取得します。これは、国の補助金申請時にも必要とされる、いわば家の性能評価書です。今やZEH基準は当たり前と言っても過言ではありません。ちなみにZEHのUA値基準値は宮崎県は0.6となっております。今回ご紹介の住宅は

UA値=0.43 C値=0.118の省エネ・高性能住宅です



森下工建社 SW工法による直近10棟のUA値及びC値

※住宅の大きさや形状でも数値が異なります

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
UA値	0.35	0.44	0.44	0.44	0.42	0.44	0.44	0.43	0.38	0.43
C値	0.068	0.120	0.160	0.084	0.080	0.130	0.170	0.150	0.150	0.118

宮崎県 森下工建社 いっでもお声かけください♪ (ご紹介もお待ちしております)

TEL : 0985-39-1645

FAX : 0985-39-0362

E-mail : morikenz@miyazaki-catv.ne.jp

Homepage : <https://www.moriken-work.com>

Instagram : morishitakoukensya

